

テーマ / 一宮の未来デザインを構想する

歩きたくなる、くつろぎたくなる、行ってみたくなるまちなかを、民と官が連携して創り上げていく「ウォークアブル」なまちづくり…
実現したい一宮市の未来のまちなかへ向けたそれぞれの想いを話し合い、具体的なアイデアも浮かんできました。

いろんな想いを紡ぐ 未来のまちなか



みどりがあり
子どもも
くつろげるまち

- ・ 駅からまちなかまで続く大きな公園や広場があるといいね
- ・ 駅前にもっと緑の空間がほしい!
- ・ こどもが遊べる、楽しめる空間が駅前や駅に近いところにあるといいな~
- ・ こどもと絵本、そこに人が集まる風景
- ・ 小さいころから色んなコトに触れられる環境や可能性がわかる空間

若者よそ者が
チャレンジ
できるまち

- ・ 公共空間や空き家、空き店舗を活かし若者やよそ者がどんどんチャレンジ!
- ・ よそ者も関われる居場所づくり(ゲストハウス)
- ・ スケート場跡を人気のスケボーパークに!?
- ・ 若者に空間を提供して使ってもらおう仕組みづくり
- ・ 若者が参加するには間口が開き、そこから見えるコトやお互いにどんな人がいるかを知り、共有することが大事!

一宮らしさや文化を
感じられるまち

- ・ 「セナイ」のPRだけでなくファッションショーや手に触れられる店があるね
- ・ 喫茶文化のほか味噌煮込みなど一宮発祥の文化や真清田神社を感じられるまちへ
- ・ 一宮らしさが「繊維」ならばまちなかにも「ひつじ」がいる風景を日常にしたい!
- ・ まちなかは商いだけでなく文化的な拠点として人が集まる場所へ…
- ・ まちとして若い人が集まれるカルチャーを育てることを考えるべき